

【尼崎市版 GIGAスクール (AGS)】 の実現に向けて

文部科学省

Global & Innovation Gateway for All

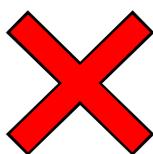
GIGAスクール構想

～ 1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」～

① ICT機器・インフラの整備

児童・生徒1人1台PC,
高速大容量のネットワーク等

新しい教育ICT環境の実現



② 学びの深化・転換

従来の実践とのベストミックス

《主体的・対話的で深い学び》
の視点からの授業改善



尼崎市版 GIGAスクール (Amagasaki GIGA School)

主体的な学び

✓ 市内全ての小・中・高等学校
及び特別支援学校の普通教室
に無線LANの設置

✓ 教員用PC (タブレット機能
付き 2in1) の更新

✓ 市内全ての小・中学校*の児童
・生徒に1人1台のPC配布

✓ クラウドベースのネット
ワークシステム

対話的な学び

深い学び



* 特別支援学校の小・中学部含む



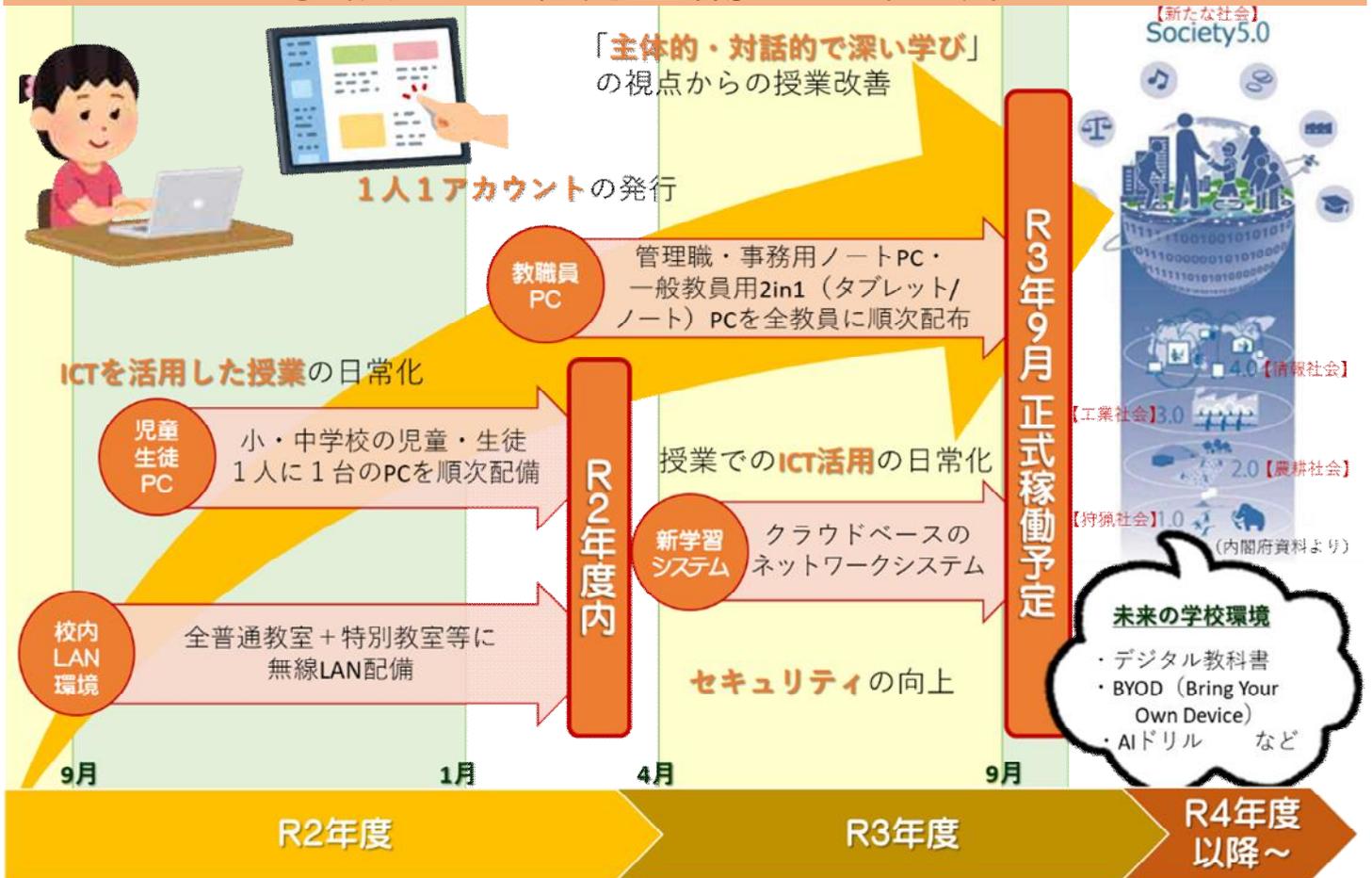
尼崎市教育委員会



① ICT機器・インフラの整備

新しい教育ICT環境の実現

【学校ICT環境整備 ロードマップ】



「教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数（兵庫県内自治体）」（R2.3.1 現在）

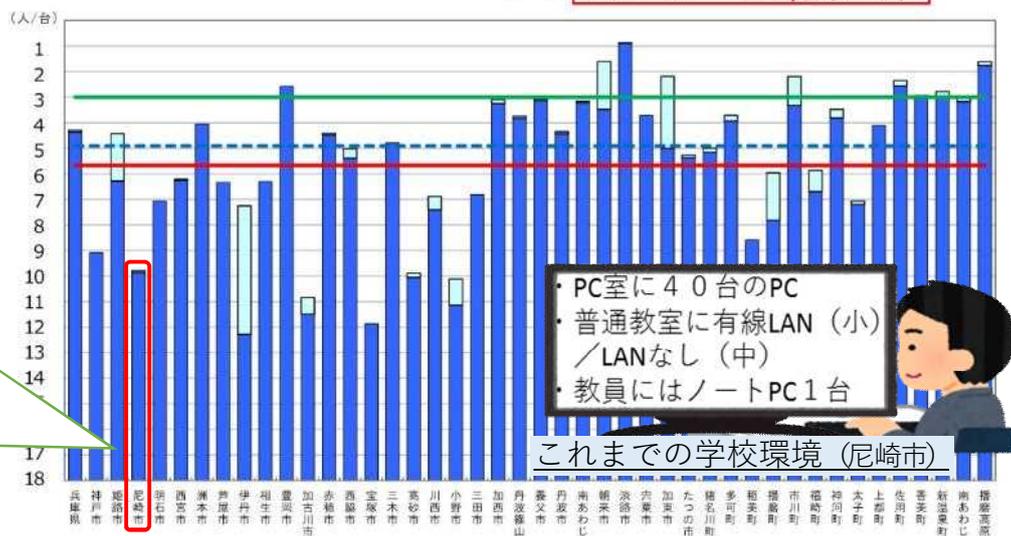
～令和元年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（概要）より～

| | |
|--------|---------------------------|
| 目標値 | 3クラスに1クラス分程度（第3期教育振興基本計画） |
| 全国平均値 | 4.9人/台 |
| 兵庫県平均値 | 5.7人/台（第41位） |

尼崎市
9.8人に1台

県内 **39**位
(43市町中)

全国 **1744**位
(1816自治体中)

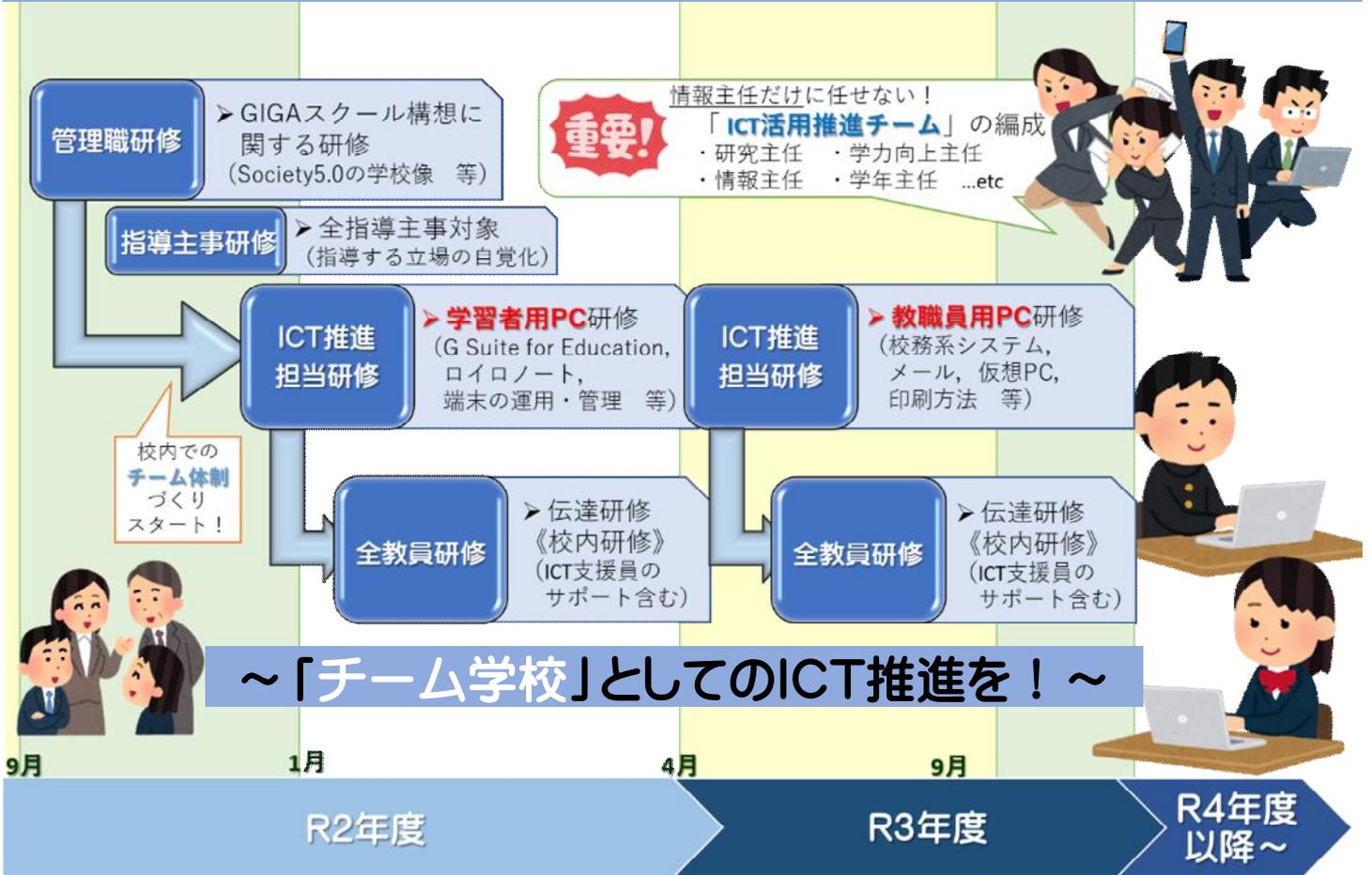


※ 第3期教育振興基本計画(2018～2022年度)における目標値(「学習者用コンピュータ3クラスに1クラス分程度【授業展開に応じて必要な時に「1人1台環境」を可能とする環境の実現】(1日1コマ分程度を当面の目安)」。 □ 前年度調査からの増加分

② 学びの深化・転換

《主体的・対話的で深い学び》の視点からの授業改善

【GIGAスクール研修 ロードマップ】



先進的な取組の市内共有

モデル校・研究部会による
公開授業・研究発表会

先導的モデル校
実証研究

学習者用デジタル教科書
プログラミング教材
オンライン教材

令和2年度
「未来の学び
研究事業」

AL授業実践部会

【ICT活用研究部会】

【STEAM教育研究部会】

主体的・対話的で
深い学び

各学校・研究部会の取組

各学校の取組

ICT活用推進部会

市内各校における
「ICT活用推進チーム」
での取組の共有

令和3年度
「未来の学び
研究事業」

AGS
リーディング・
プロジェクト校

先進的なICT活用
に取り組む学校の支援

〇〇科教育研究会,
〇〇学校 校内研究などの
研究授業/提案授業で
各教科等研究部会の取組

子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む
教育ICT環境の実現に向けて
～令和時代のスタンダードとしての1人1台端末環境～
《文部科学大臣メッセージ》【一部抜粋】

Society 5.0時代に生きる子供たちにとって、PC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。今や、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっています。社会を生き抜く力を育み、子供たちの可能性を広げる場所である学校が、時代に取り残され、世界からも遅れたままではられません。

1人1台端末環境は、もはや令和の時代における学校の「スタンダード」であり、特別なことはありません。これまでの我が国の150年に及ぶ教育実践の蓄積の上に、最先端のICT教育を取り入れ、これまでの実践とICTとのベストミックスを図っていくことにより、これからの学校教育は劇的に変わります。

令和元年（2019年）12月19日 文部科学大臣 萩生田 光一

これまでの
教育実践の蓄積

× I C T

=

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの
授業改善

【文部科学省リーフレット】「GIGAスクール構想の実現へ」より

これからの尼崎市の学校



I C T を日常的に活用して
「新しい時代に必要となる
資質・能力」を育成する場に